

教育長定例記者会見 会見録

日時：令和4年6月24日（金）11時00分～

場所：教育委員室

発表項目

- ・ 職業学科の生徒が、先端技術の設備等を活用し、スマート農業やIoT・データ分析等について実践的に学んでいます

質疑事項

- ・ 教育職員免許状に関する規則の一部を改正する規則案について
- ・ 令和5年度三重県立高等学校入学者選抜実施日程・三重県立特別支援学校入学者選考実施日程について
- ・ 学校におけるマスク着用について
- ・ 令和5年度三重県公立学校教員採用選考試験の申込状況について

発表項目

- 職業学科の生徒が、先端技術の設備等を活用し、スマート農業やIoT・データ分析等について実践的に学んでいます

本日、私の方から1点説明をさせていただきます。

職業学科の高校生が、先端技術の設備を活用して、スマート農業、IoT、データ分析などについて実践的に学んでいるものです。農業や工業をはじめとする職業学科、それから総合学科を設置しております県立高校のうち28校で学んでいる生徒が、令和3年度に、温室の自動制御装置や数値制御工作機械、あるいはいろんなシミュレーターなどデジタル化に対応した最新の産業教育設備を整備いたしまして、これを利用してこれからの Society5.0 時代の地域の産業を支える人材に必要な知識や技術を学んでいるというものです。

後で映像を見てもらいますが、概略をご説明いたしますと、農業学科四日市農芸高校の例ですが、温室の話なのですけれども、今までは生徒が、温度計・湿度計を見て、当然手動で温度や湿度を管理していましたが、現在2・3年生が総合実習におきまして、自動制御による環境のもと品質の高い野菜の栽培に取り組んでいるというものです。スマート農業に関連する技術を習得している生徒からは「大きく高品質な野菜が育って、制御装置の威力に驚いていた。」といった感想があります。生徒は水耕温室クラウド型の自動制御装置を使っています。

工業学科では、四日市中央工業高校の都市工学科で、これまで製図台を使用して紙の製図や、コンピューターを使用して二次元の製図を主に行っていたのですが、3年生が課題研究において、実際の学校の実習棟や温水プールの紙データでの指定設計図をデジタルデータ

にし、パソコン上で3次元化するということに取り組んでおり、3次元CADに関連する技術を習得しています。生徒からは「平面図だけでなく、立体的な図面で構造物を設計できて嬉しい。これからもより高度なことに挑戦したい。」という声があります。

また、水産高校ですが、今までモニター画面がない状態で、速度や方位の計器の数値のみで、仮想の海上を航行する練習をしておりました。今は2・3年生が、「航海・計器」等の授業で、GPS機能と三つのモニター画面で操舵室からの目線で実際の海上や港を再現できる装置を使用して、操船練習に取り組んでいます。実際に「しろちどり」に乗って航海実習をするため、その際の習得も効率的に行うことです。生徒からは「実際の船に乗っているようで、指示に従うだけでなく話し合いながら技術を高めあえるので、チームワークも高まっていい。」といった声を聞いております。

2番目の、その他各学科における取組では、2つ目の工業学科で、工場の自動化も進んでおりますので、それに対応できる数値制御工作機械やロボット制御装置を習得したり、商業学科は、システム開発に対応できる高性能パソコンを活用しています。また家庭学科では、調理工程をモニター映像で確認できるデジタル化対応調理室の整備をしております。看護学科では、これは桑名高校ですが、急性疾患や術後ケアなど患者の状態に合った対応ができる技術を、そのような情報共有シミュレーターにより習得しております。福祉学科では、脈拍や呼吸などのデータ分析を取り入れた非接触型のバイタルセンサーにより、そうした技術を習得しております。教員からは、「製造現場と同じ技術の習得に取り組めるようになって、生徒の学ぶ意欲が格段に高まっている。」や「目の輝きが違うし、専門分野の学びを生かした進路先に進んでいく生徒が増えていきそうだ。」といった感想があり、生徒の学習意欲が向上しております。

今後は実際に、このような先端技術を導入している企業や農業法人、施設等とも連携して実際の技術者から直接学ぶ機会を設けるなどして、学習内容の充実を図ってまいります。その上でより効果的な活用方法について研究を進め、時代や地域のニーズをとらえて、学科の特色を生かした教育を実践して地域産業を担える人材の育成に取り組んでまいります。

参考の方は、就職という面で見えた時の就職内定率を書かせていただきました。令和3年度、三重県は99.6%でした。全国的な数値としては6番目です。高校卒業後の状況で令和2年度のところを見ていただきますと、大学と短大への進学した割合は46.7%ということで、全国よりも三重県は継続的に少ない状況です。一方で就職した方の割合は、三重県は31.3%で全国は20%前後ですので、三重県はそういったところが多い状況となっております。

それ以外の参考資料として写真をつけさせていただきましたけれども、映像を見ていただければと思います。

～四日市農芸高等学校、四日市中央工業高等学校、水産高等学校 放映～

ありがとうございました。以上です。よろしく申し上げます。

発表項目に関する質疑

○ 職業学科の生徒が、先端技術の設備等を活用し、スマート農業やIoT・データ分析等について実践的に学んでいます

(質) 今、発表があった案件ですが、28校で学ぶ生徒が令和3年度からということですが、これは昨年度から、28校すべてでこうした何らかの先進的な機器を取り入れたのでしょうか。

(答) そうです。農業、工業などの職業学科と総合学科を設置している高校は、28校よりもう少し多いですが、この28校ですべて何らかの先進的なデジタル関係の必要なものを整理して、今年度から実際に授業や実習で活動している状況です。

(質) その上で、例えば就職率は、三重県は全国的に高いということですが、こうした設備の導入が全国と比べて進んでいるとか、変わった点などがもしあれば教えてください。

(答) 以前からいろんな実習設備は先行的にやってきましたが、今回は国の補正予算も活用していますので、そういった意味では、全国それぞれの状況に応じた設備が一定整備される中で、三重県では先ほどの水産高校とか看護とか農業とかの課題に応じて、それぞれの地域の産業人材が、こういう分野が必要ということで、今回整備したということです。ですので、整備した内容は三重県の独自の部分が入っていますが、大きなベースとしては、国のコロナ後の学習とか、これからのSociety5.0時代の高校の人材育成という枠組みの予算を活用しています。

(質) その点で、あえて3校をご紹介いただきましたが、三重県としてこういうところが他県に比べて優れているとか、自慢できるとか大変力を入れているとかという点をご説明をお願いします。

(答) この学校以外にもたくさんやっています、例えばスマート農業であれば、設備はもちろんです、実際に、例えば地元農家の方に、実際に学校に来ていただいたり、あるいは、実際に活用されている設備や使い方を学ばせてもらったりということと、あわせて実際に見ることで、生徒は実習で自分もやってみる、現場で実施するのにあわせて、自分も実習に取り組む、そこが三重県として大事にしているところです。

(質) あとデータのなところですが、この予算が総額でいくらとか、1校あたりいくらとか、生徒1人あたりいくらとか、わかりましょうか。

(答) 28校で、17億8900万円くらいです。

(質) これは生徒1人あたりにするといくらとかわかりますか。単純に割り算して。

(答 高校教育課長) これに関わっている全校生徒が1万2000人ほどおります。これは職業学科の生徒ですので28校とは限らないですが、いわゆる工業・農業・商業、先ほどの総合学科を含めて、1万2000人ほどおりますが、28校という限定ではありません。このため、若干誤差というか正確なものではありませんが。

(質) 教育長として、こうした取組を進めることで、県内の高校生の学びにどのような効果

を期待するのか、改めて教えてください。

(答) 農業や工業、それから福祉や看護、水産で、みなそれぞれ進学していった生徒は目的を持って進学してくれています。一年生では基本的なことを、しっかりと今も学んでいます。その上で、今見ていただいたような、先端技術を活用した実践的な学び、そして力もつけて、これから三重県で求められる、活躍できる力をさらにつけて欲しいと思います。

(質) 別の取材で少し耳にしたのですが、水産高校が、尾鷲の方の定置網を毎日見に行かなくても、網の中に今日はどれぐらい魚が入っていて、今日は取りに行った方がいいとか、行っても無駄とかそういうことをわかるようなことを水産高校がやっていると聞いたのですが、これの中に入っていたりするのでしょうか。

(答 高校教育課) それは今回の予算とは別です。

その他の項目に関する質疑

○教育職員免許状に関する規則の一部を改正する規則案について

(質) 今日の教育委員会定例会の事項書の方ですけれども、こちらは特に変わったことはなかった。教員免許の規則の改正は全国的な動きを受けて、三重県もということによろしいでしょうか。

(答) そういうことです。

○令和5年度三重県立高等学校入学者選抜実施日程・三重県立特別支援学校入学者選考実施日程について

(質) 特に三重県が独自に何かを始めるとかそういうものではないということによろしいですか。

(答) 一番下の報告4というのは、三重県の入試の日程ということで、前期選抜、後期選抜の日程というのはこれまでも公表させていただいているのですけれども、今回、その出願時期とか、それから、コロナに備えた追々検査を新たに一つ設けたということは、今回初めて報告をさせていただきました。

○学校におけるマスク着用について

(質) 別件なのですが、今日も大変気温が暑くなっておりますけれども、熱中症対策で、生徒さん、児童さんに対して三重県教委としてなにかマスクの着用などを含めての呼びかけなどありましたら教えてください。

(答) 熱中症対策につきましては、5月の連休明けにまず文書で、県立学校、市町教育委員会を通じて小中学校に注意喚起を徹底したところです。最近では6月13日にこれも通知を出しまして、マスクの着用につきましては、県立高校にまず通知を出しまして、体育の授業においてはマスクを外す指導をするとともに、運動部活動でも同様に指導する。その際、まず教職員がマスクを取るということをするるとともに、体育の授業において、外でも必要

な2メートルぐらいの距離を取ったり、体育館で行う場合は換気を徹底するというところを13日に文書で徹底したところです。市町教育委員会に対しても、その文書を共有させていただいて、参考にしていただいているところです。気温が高く、湿度も高いので、熱中症から本当に身を守るということを最優先に考えて、マスクをつけなければならない、普段つけている場面でも、もし症状が何かあったり、気分が少しすぐれないということがあったら、すぐマスクを外すようなことを教職員にもちゃんと指導するようというのを併せて徹底しているところです。

(答 保健体育課長) 登下校につきましても、暑い時期になってきましたので、併せて外すように、教育長が言われた状況で、距離を離して、外すようにということも併せて入れさせていただいたところです。

(質) 県立高校は6月13日に最初の通知を出したということですが、市町教育委員会に出された日も同じように13日でよろしかったでしょうか。

(答) そうですね。13日に県立高校の通知の写しをつけて、参考にしていただくようにということを出させていただきました。

○令和5年度三重県公立学校教員採用選考試験の申込状況について

(質) 教員採用試験の申込状況なのですが、今全体で261名の申込みが減っているということだったと思うのですが、この261人というのは過去と比べて多いのか、昨年並なのか教えてもらえますか。

(答) ちょっと過去との正確な対比のデータは今持ってないですけども、人数が過去に比べて減っているという状況にはあります。

(質) 多分、全国的な流れなのかなという感じもするのですが、三重県でも、そういう課題というのは何か。

(答) そうですね。これまで、例えば小学校でしたら退職者が多いということもありましたので、採用数が少し前に比べて増やしてきたということも、一方であると思うのですが、そういうことで、これまで既に大学を卒業された方で全体として、講師をされている方の活動自体が以前に比べて少なくなっているということです。また、大学在学中の方も見ると、昨年度と比べて、申し込まれた方が減っているという状況は、おっしゃるような全国的な話ではありますが、どういったところで減っていたり、どういう理由で減ったかということはこれからもう少し丁寧に分析しながら、来年度に向けた対応を考えていきたいというふうに思っております。

(質) 受験機会で何かこう、教職員を採用しやすいような取組みたいなことは何か取り組まれているのでしょうか。

(答) そうですね、従来から三重県は割と早いうちから、受験年齢の年齢制限というのは無しにしております。あるいは、他府県から三重県に戻って見えたり、三重県を受験される方に対しては1次試験の一部を免除というか別の試験に変えたり、受けやすいような

環境を整えているところであります。それから、三重県の採用試験を受けていただくために、近隣府県も含めてそういう大学養成の学部、学科がある大学は丁寧に訪問して、この三重県でやっている教育の内容とか、三重県で受ける研修でこういうふうな成長ができるということも含めてやっております。また、三重大学など現職の学生さんに対して、三重県の事務局の職員が実際の学校での状況とかというのを知っていただくための授業をいくつか持たせていただいたりということです。今後、そういうことに加えて、これから検討しますが、本当に学校現場がより魅力があるとか、働きがいがあるとかそういうようなことを、わかっていただけるような対策を考えていきたいと思っております。

(答 教職員課長) あと受験者数が、261人減ったのはどうだっという話で、平成26年以降のここ10年で、ちょっと減っている。

(質) 年々減ってきているっていう感じですか。

(答) そうですね。いや、3年前で、ちょっと増えたりしていますので、2年前からは減っているという状況です。

以上、11時26分終了